

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北陸)	良くなる	住宅販売会社（従業員）	・消費税率引上げによる駆け込み需要がしっかりと感じられるようになってきた。
	やや良くなる	一般小売店〔精肉〕（店長）	・確実に平日も来客数が増加しており、客単価も週末を中心に上がってきている。この傾向は続くものと思われる。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・特別大きな売上の増加にはならないが、マインド的には良くなると思う。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・アベノミクスの効果や株価の上昇など景気回復の期待が持てることが多くある。
		百貨店（売場主任）	・若干気温の上昇が早く訪れ、初夏の商品への期待感はある。また高額商品の動きはここしばらくは継続すると期待される。
		百貨店（営業担当）	・3月に入ってから、客の購買意欲が上がっている。アベノミクスの影響も後押ししてか、予算や前年売上と比較すると、100%を超えている。アパレルフロアでも、買い控えが多くみられた前年と比較しても、春物のコートなど高額アイテムが好調なことから、今後3か月後もこのような状況が続くのではないかと期待している。
		スーパー（店長）	・今後も消費は少しずつではあるが、上がっていく機運があるように期待している。ただし、楽観視はできない状況であるといえる。生鮮食品を中心とした販売に注力しながら、集客への魅力度を上げていきたいと思っている。
		コンビニ（経営者）	・2号店を閉めたことで、分散していたスタッフを優秀な人材のみで固めたため、店のレベルが向上すると予想している。現在より悪くなるとは思わない。
		コンビニ（店長）	・世間ではアベノミクスなど景気の良くなる話が報道されているが、今後消費税率引上げなど景気が上向き要素ばかりが多いわけではない。実際3月は全面改装したにもかかわらず前年同月比を少し割っており、むしろ景気は悪くなっているとも感じられる。4月に期待しながら私の身の回りの景気の良くなる具体的な要因が無いため、変わらないのではとさえ感じている。季節や時節柄によりやや良くなるかと期待したい。
		コンビニ（店舗管理）	・新政権発足に伴い円安傾向であることが、市井の人々の閉塞感を緩和することを予想する。
		衣料品専門店（経営者）	・2～3か月もすれば、当地にも、円安と株高の影響が出てくるだろうとたくさんの人が思っているようである。私もそのように思う。また、同時に、現在の円安と株高が長く続いて欲しい。「一時的に終わってしまうということはないんでしょね」とたくさんの人が言っている。
		家電量販店（店長）	・消費税率の引上げ前にエアコンを買換える傾向が今年の夏から出るとされる。
		乗用車販売店（役員）	・経済界としてはアベノミクスに期待したいところであるが足元は弱含みであり、徐々に消費の拡大傾向に向かっていくことを期待したい。
		住関連専門店（店長）	・消費税率引上げの駆け込み需要は確実にあり、その分での良くなる可能性がある。その後が問題となってくる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・ゴールデンウィークなどで、消耗品の売上が増加することに期待している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・円安による懸念はあるが、国内ではゴールデンウィークが長く、旅行の準備品及び外出先での消費に期待が持てる。
		一般レストラン（スタッフ）	・マスコミおよび社会全体が政治も含めて良くなっていくという報道や雰囲気がある。
		観光型旅館（スタッフ）	・前年同月比をみると、4月の予約状況は95%、5月は108%と前年同月を確保できる見通しである。また、6月以降は80～90%前後でWeb受注も好調であり、今後の間際受けがどれだけ確保できるかが焦点となっている。
		旅行代理店（従業員）	・個人客については、相変わらず動きがみえないが、団体客については、企画提案や見積依頼の件数が大幅に増えてきている。
		旅行代理店（従業員） タクシー運転手	・政策の実行次第である。 ・来月前半の市長選挙、市議員選挙が終わり、今までの暗いイメージの反動で多少人が出ると期待している。
	通信会社（職員）	・主要大手企業の賃上げの動きに刺激され、地方の中堅企業にもその影響が少なからず出るものと期待でき、春先の季節需要期を皮切りに夏場の商戦にも消費意欲向上に期待が持てる。	

	通信会社（営業担当）	・必要なものにはお金を使うという流れにより、上向いている。
	美容室（経営者）	・新店舗をオープンするため、新店効果もあり、売上や来客数とも増加する。
	住宅販売会社（経営者）	・消費税率引上げ前の駆け込み需要が見込める。
	住宅販売会社（従業員）	・展示場の来客数は横ばいであるが、家を建てたいという確かな客の質的变化がみられる。今後、高級な注文住宅の相談案件が増えることが十分予想され、注文を取っても加工ができなくなることを防止するには、協力業者の早期手配などが急務となっている。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅販売各社とも、客に対し資材の値上がりも近づいていると話しているため、9月までの客の動きはさらに強くなると思われる。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税率引上げ前の駆け込みで、客の積極的な動きが予想される。
変わらない	商店街（代表者）	・一過性かもしれないが、しばらくは今のムードが続きそうである。
	商店街（代表者）	・都会のデパートでは一部高額品の販売額が増えているようだが、地方ではそのような気配は微塵もない。まだ当分はこういった状況が続く。
	百貨店（営業担当）	・上向き加減だが、汎用性の低い商品は厳しく、日常的でカジュアル志向の商品が求められている。例えば、「カップ＆ソーサー」のセットでは、ソーサーは不要であるなど、ギフトにおいても箱物セットは敬遠されがちである。
	スーパー（店長）	・ここ2～3か月では、特に流れ的にも変わらないと思われる。競合店の状況を踏まえ、店のレベルアップを図ることにより、2～3か月先の売上は少しは増加するのではないかと考えてはいるが、今の段階ではどちらともいえない。
	スーパー（総務担当）	・春頃より原材料費上昇のため商品の値上げが始まる。政府の経済対策で円安、株価上昇になっているが、今後客はますます節約志向を高めていくことも考えられる。
	スーパー（総務担当）	・円安のデメリットとして、石油の値上がりによる関連品の値上がり、メリットとして株価上昇や一部大手の給与増があるが、相殺すればまだ変化は少ないと思われる。
	衣料品専門店（経営者）	・まだ景気回復に不透明な要素が多く、現時点では景気が好転して売上が増加していくとは考えにくい。
	家電量販店（店長）	・主要商品の売上に大きな変化が無く、購買意欲が出る話題性の高い商品が無い。
	家電量販店（管理本部）	・マスコミではアベノミクスで盛り上がっているが、効果は株式市場や一部企業のみであり大部分の消費者は収入増加見込みの実感が無いので当分現状維持が続くと思われる。
	乗用車販売店（経営者）	・新型車の効果で需要は伸びたが、現実的な経済の回復感を実感していない顧客層を取り込めていない。業績はこの顧客層にかかっているので引き続き注力が重要である。
	自動車備品販売店（従業員）	・高額商品であるカーナビゲーションはディーラーが力を入れているが、依然厳しい状況であり、今後もこうした流れは変わらない。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・株が上がったり円安が落ち着き、景気が良くなってきてても、こちらの方に回ってくるにはまだ2～3年掛かる。
	その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	・所得が増えない中では、将来の大きな出費に備えて貯蓄に回し、消費支出を抑える傾向は今後も続いていくと考える。
	高級レストラン（スタッフ）	・慶事や法事などの個人利用の手ごたえはあるが、法人接待利用の減少は下げ止まりの状況がみえてこない。
	一般レストラン（店長）	・株高、ベースアップなど、都市部の景気上昇気配はあるが、地方への波及には時間が掛かると思われ、現状維持である。
	スナック（経営者）	・不況業種である当店では、一般の方々の給料やボーナスが上がるかによって、客の出入りが左右されるかと思うため、期待はできない状態と思われる。
	観光型旅館（経営者）	・4月以降も予約数が前年割れの状態が続いている。特に、関西圏からの集客に苦戦している。
	都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況に加え客の表情をみている限り良い傾向が継続している。
	都市型ホテル（スタッフ）	・円安によるいろいろな値上げや夏場にかけての電気料金の値上げなどの影響が、少し明るい景気回復の兆しに水を差すことにならないか心配しており、もう少し、売上や個人の消費行動を見極めたい。
	タクシー運転手	・少しずつではあるが良い方向に向かっており明るい材料もみられるが、節約傾向は依然として残っている。

		通信会社（営業担当）	・携帯業界の繁忙期を迎え、一時的に回復が期待できても本当の意味での景気回復に向かう材料は乏しく思う。一方、高価格の商品の動きが以前より見受けられるので、徐々にでも景気が回復する兆しであってほしいと思う。
		通信会社（役員）	・通信業界はサービスが多様化しており、顧客ニーズも分散化する傾向にある。この影響として契約件数が伸び悩んでおり、家計の購買意欲の高まりを実感するまでにはもう少し時間を要すると考えている。
		競輪場（職員）	・来月より本場開催が始まり、開催日数が増える時期に突入するが、売上の少ないグレードの低いレースを発売することも多く、月単位の売上平均は微減すると予想される。
		その他レジャー施設（職員）	・燃料費の上昇が一服している。
	やや悪くなる	スーパー（統括）	・今後、コンビニエンスストアやドラッグストアを含む異業種の出店計画があることと、客がより単価の安い所、より便利な所を選択するという買物の必要なシーンに分けて使い分けているということにより、来客数も含めて厳しい状況になる。
		コンビニ（経営者）	・新カテゴリーのドリップ式コーヒーを近々販売するので売上増加が見込まれるものの、近隣に競合店のコンビニエンスストアが開店するので、かなり売上が減少することも予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・今年はエコカー補助金も無く、4月からの自賠責保険の値上げなど、良くなる材料が乏しいため、販売量がやや悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・新商品の発表はあると思われるが、スマートフォンの需要が相変わらず高いため、それを越える端末が発表されるか否かにより売上也比例すると思う。
	悪くなる	テーマパーク（職員）	・引き続きの円安傾向から海外からのいわゆるインパウンドの客は前年を上回る利用数になることは間違いなくと思うが、国内の団体そして個人の予約については、進行予約は鈍い状況にある。全体としては悪くなる方向にあると思われる。
	良くなる	-	-
企業動向関連 (北陸)	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・景気回復の期待が高まっているが、コストの上昇が先行しており、採算面で不安がある。しかし、輸出関連を中心に受注増そして新商品の受注が期待される。
		繊維工業（経営者）	・国内の動きは特に従来と変わらないが、円安による輸出増に期待している。
		化学工業（総務担当）	・社内会議の中で販売量は増える予定であるとの報告があった。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・円安、株高などが消費意欲高揚のきっかけになっており、景気に結び付きつつある。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・補正予算で「円高・エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業費補助金」が出されており、大学や高専、また企業も設備投資を実施すると考えている。
		建設業（経営者）	・過去は新年度が始まった第1四半期での工事発注はわずかであったが、補正予算と新年度予算のダブルでの工事発注で建設業界は久しぶりに多忙になるであろう。しかし、これまでに人員削減を続けて何とか生き延びてきた業界であり、技術者や技能者不足の状況になっており、対応できる業者と対応できない業者に分かれるだろうが、そこから新しい産業へ進化することを期待したい。
		通信業（営業担当）	・情報通信技術がようやく浸透してきたように思える。企業価値を上げるために、多機能なシステムを求められるケースが出てきている。販売量も増えてきている。
		金融業（融資担当）	・アベノミクスによる経済効果への期待が、次の参議院議員通常選挙、夏場まで続くものと思われる。
		金融業（融資担当）	・高額商品などが売れ始めている所については、北陸地方ではまだ動きがみられず、耐久消費財あるいは衣食住の基本消費財についても、まだ売行きが好転している材料は見当たらない。ただし、都市部の景気が徐々に北陸地方にも波及してきて、先行きについては、悪化する材料は見当たらないと思われる。
		不動産業（経営者）	・物件への問い合わせが少しずつ増えるようになってきている。法人でも個人でも2か月くらい先は動きが出てくるであろうとの話が聞かれるようになった。

		税理士（所長）	・現状の課題は企業の付加価値、特に客である中小零細事業所が大手からの値引き攻勢に10年以上さらされていることである。同事業所の付加価値が上がらないと全体の人件費が上がらないため、政治的なリーダーシップに期待したいと思う。ただし、いろいろな面で株も上がっており、期待感も上がってきている。また、企業関係の人件費も上がるので、個人消費も上向くとの期待もある。
変わらない		プラスチック製品製造業（企画担当）	・住宅市場は消費税率の引上げられる来年4月に向けて、今年の年末ごろからかなりの動きがみられると推測できるが、それまでは変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注の入り具合は現状と変わらない。
		精密機械器具製造業（経営者）	・国内高付加価値商品は順調に動いているものの、国内低価格品競合社も新機能商品を市場投入してきており、今後の動向に注意する必要がある。海外についてはしばらく現在のよう状況が続くと思われる。
		建設業（総務担当）	・工事発注量が増加傾向にあるが、急には作業人員が確保できず、逆に資材価格や労務費の上昇による厳しい状況が続くと予想される。
		輸送業（配車担当）	・物流については、景気の影響を受けるのは最後であり、国内の需要が増えない状況が続くと思われる。
		司法書士	・資力のある層に動きがある一方で、中小企業金融円滑化法の終了という不安材料もある。
やや悪くなる		食料品製造業（役員）	・販売重量や販売単価ともにほとんど変化の無い中で、素材価格や光熱費の上昇分が収益性を悪くする。
悪くなる		-	-
雇用 関連 (北陸)	良くなる	-	-
		やや良くなる	人材派遣会社（社員）
		求人情報誌製作会社（編集者）	・しばらく求人を出していなかった客からの引き合いが増えてきた。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・製造業や建設業などの現場で人手不足の感が出てきている。証券会社などからの求人広告もある。今後、景気は良くなっていくと思われる。
		民間職業紹介機関（経営者）	・景気回復傾向になると、今まで抑制していた雇用が活発化してくると期待する。
		変わらない	人材派遣会社（役員）
		職業安定所（職員）	・新規求職者数、新規求人数ともに、前年同月とほぼ同水準となっており、この傾向は続くとみている。また、在職中の求職者の動きも落ち着きをみせている。
		職業安定所（職員）	・製造業の事業所からは、景気回復が浸透してくるのはまだ先との声が聞かれる。
		職業安定所（職員）	・一部製造業では円安による燃料費、原材料費の高騰の影響により低調であるが、建設業や医療福祉では求人が増加しており、状況は変わらない。
	やや悪くなる		-
悪くなる		-	-